



2025年春入学生募集

ビジネスを学ぶ「学校」です

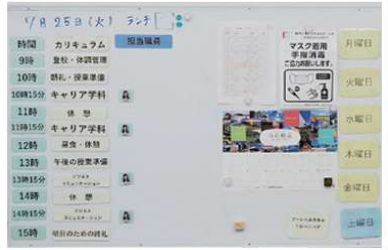
新年明けましておめでとうございます。引き続きのご指導、ご支援よろしくお願い申し上げます。さて、障がい者ビジネススクールは、特別な支援を必要とする人たちが社会で活躍できるように、ビジネスについて学ぶ「学校」です。社会人基礎力をはじめ、パソコン、一般教養、キャリア教育などのビジネス基礎を学び、身につけて、多様な業種・職種へのハイレベルな就職を目指しています。

都市部大手企業に在宅就職
就職の選択肢が広がる

特別な配慮で支援する
福祉型ビジネススクール

質の高い教育と
特別に開発されたシステム

企業採用担当が求める
ビジネス人材の育成



厚生労働省では、障がい者の方々への一つの就職のあり方として、在宅就職を推進しています。障がい者ビジネススクールでは、県内一円にて、在宅型で学ぶことができます。地元で暮らして、都市部大手企業を中心に就職ができる在宅型で、就職の選択肢を広げましょう。

全国初の福祉型ビジネススクールです。特別な配慮により安全、安心して学ぶことができます。高等学校などの卒業後の進路として選ばれています。

障がい福祉・教育・ビジネスの専門家が一になって、独自に開発された質の高い教育カリキュラムです。一段階レベルアップした就職を支援します。

日本の会社は、休まない、遅刻をしないことは当たり前のことです。また、指示されたことは、素直に聞いて、仕事をする。仕事の具体的なやり方、内容は、採用後に、その人に相応しいと思う仕事を指示します。体調管理ができる、素直に指示に従って働くことができる人間力とビジネス力を育みます。

障がい者ビジネススクールの特徴

最大4年間学校生活

障がい者ビジネススクールは、ビジネス基礎、ビジネス実践、キャリア支援の3つのカリキュラム構成です。自立訓練(生活訓練)事業と就労移行支援事業を組み合わせる事で、最大4年間の学校生活となります。



通学型と在宅型併用型

障がい者ビジネススクールは、近隣に利用できる障がい福祉サービス事業所がない、通学することや外出が困難な方々のために在宅型サービスを提供しています。また、通学型と在宅型の併用も可能です。



入学金授業料無料

入学金・授業料は、厚生労働省障がい福祉サービス基準に基づいています。詳細は、厚生労働省ホームページにてご確認ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaisahukushi/sevice/hutan1.html



ご入学(ご利用)希望者の方には、安心してご入学(ご利用)、学校生活を過ごしていただくために、ご相談からご入学手続きまでの手続きについて、ご支援を行っています。障がい福祉サービス事業の趣旨などについて、ご理解をいただいた上でお申し込みください。

障がい者ビジネススクール

熊本校

〒860-0848 熊本市中央区南坪井町5-27-1
ロマージュ上通並木坂1階
電話：096-325-6590 FAX：096-288-5527
メール：kumamoto2022.bs@gmail.com

金沢校

〒920-0854 金沢市安江町1-1
グランドパレス武蔵ヶ辻1階
電話：076-254-0962 FAX：076-254-0963
メール：kanazawabs2022@gmail.com

「被災障がい者の雇用支援」 始まる！

2024年1月に発生した能登半島地震では、石川県能登地区や富山県を含め広範囲が甚大なる被害を受けました。当スクールのご利用者様も被災し、障がい者雇用はとても厳しい状況下にあります。

今回、一般社団法人和スポーツクラブさが（佐賀県佐賀市）様と障がい者ビジネススクールとの間で、被災障がい者雇用支援協定を締結し、2名の被災障がい者の方々の雇用いただきました。



zoomでの入社式の様子

法人さまからの声



一般社団法人
スポーツクラブさが
代表理事 古賀大之さま

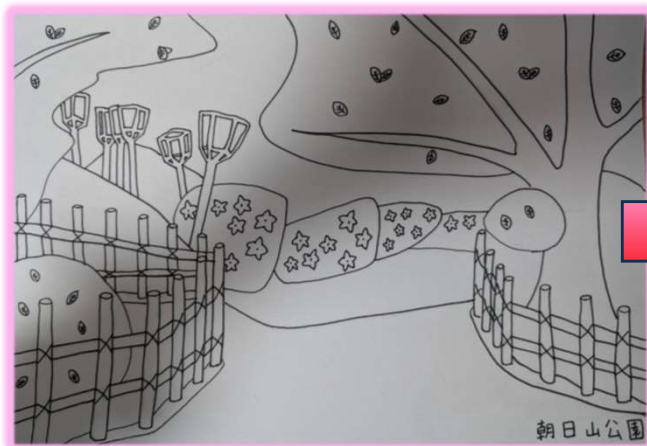
お一人は、パラアスリート陸上競技選手です。パラアスリート競技選手採用として、パラアスリート活動を応援します。日々のトレーニング、選手活動を通じた経験をレポートとして情報提供をいただき、広く県民の皆様にも勇気と元気をお届けし、当クラブの社会貢献活動に寄与していただくことを期待しております。

もうお一人の方は、絵画をはじめとする創作活動が得意分野であることから、教育事業支援員として、グループ法人が運営する放課後スクール夢の学校、放課後デイサービスゆめのわの子ども達をはじめ、地域の子どもたちに向けた、能登半島理解促進のリソースを開発・提供し、被災地理解促進に役立てる業務をお願いしています。

*塗り絵、ワークショップシートなど

お二人の雇用であります。少しでも被災地で頑張る方々のお力になればと思っています。

活動成果（教育事業支援員）



作成した塗り絵



教育事業支援員

子どもたちの喜ぶ姿を想像し、楽しみながら教材を作成しています。現在も新しい教材の企画を提案中です！



嬉しそうに塗り絵を見せてくれる
放課後スクールの子ども